

令和7年度 岐阜市立長良中学校が目指す教育

希望あふれる未来を自ら拓く力を育む教育

R7.4.1(火) S.Maruyama



教育の意義

- 教育とは夢と向き合って歩む営み
- 義務教育の使命＝教育の機会均等・質の向上
- 「人みなに 美しき種子あり 明日何の花が咲くか」

本校の使命(ミッション)

- 研究校・研修校・実習校
(教師の道場、指導的・モデル的な学校)
- 地域の学校
- 岐阜市の学校

学校の教育目標 本質をみぬき 可能性に挑み 生活を拓く

校風と目指す生徒像

礼節を重んずる 美しく整える より質の高いものを求める

共存の感情に満ちた子 美しさを心地よく感じ、主体的に行動する子 高い価値を求め、自分らしさを発揮する子

学校課題＝「生活を切り拓く力」の育成

現在、そしてこれからの生活で出会うであろう様々な課題に、自ら考え、選択した方法で立ち向かい、仲間と共に乗り越えながら、たくましく生き抜いていく力の育成

学校経営の重点

自分軸・教師軸をもち、どの子も輝く学校

総合的な学習の時間(探究的な学び)

教科学習(本校の重点)

特別の教科 道徳

特別活動 日常の活動

生き方指導(本校の重点)

- 「ながらMIRAI's」における探究的な学びの充実
(1年:地域、2年:キャリア、3年:平和、特支:地域・キャリア・平和)
- 「個別最適な学び」「協働的な学び」の実現～ICTの効果的な活用
- 教科の本質に立ち、学ぶ意義や楽しさを実感し、確かな学力(各教科の資質・能力)を育む授業実践(研究実践)
- 3年間・9年間の指導内容を系統的かつ横断的に紡ぐ授業実践
- 付着なしの本音を伝え合う解放された学級・学校風土づくり
- 自分の心の在りようを見つめ、広い視野から多面的・多角的に考え、人としてよりよく生きたいと願う指導の充実
- 事実を基にした、よりよい生き方を学び、認めあえる学級活動
- 日常の取り組みの充実による自己肯定感・自己有用感の醸成
- 「長良中宣言」を基にした、いじめ防止の取り組みと人権感覚を育てる指導の充実
- 生徒会による主体的・自治的な活動の充実(挨拶・掃除・授業等)
- 二者懇談による教育相談の充実と居場所づくり

指導の構え

- ◆子供に誠実に向き合う姿勢
・子供をさげすんだり、子供に対しておごったりしない。
- ◆誰一人悲しい思いをさせない
いじめは絶対に許さない姿勢
・子供のサインへの感度を上げる
・事実の背景を見抜く
・いじめの早期発見、迅速な情報共有、適切な初期対応
- ◆「かけがえのない一人一人」
「人のねうちを何で見るか」
を常に問い続ける姿勢
- ◆個々の特性の理解に努め、よさを伸ばし、課題を克服できるよう寄り添う姿勢
- ◆子供の背景にある見方・考え方を見抜き認め励ます姿勢

働きがいのある学校づくり

【目指す教師の姿(不易の精神)】

- ◆子供のよさと願いを信じ抜き、共に歩む教師
- ◆自己研鑽に努め、学び続ける教師
- ◆本質を追求し、創造的な実践に挑み続ける教師
- ◆実践で語り、実践で示すなど、切磋琢磨し合う教師
- ◆元気で明るい教師集団
- 【「働き方(働きがい)改革」の推進】
- ◆業務の選定と時間外勤務の縮減
・負担軽減による子供と向き合うゆとりの生み出し
- ・ハラスメントの根絶
- ◆子供の成長を喜び合える職員室

危機管理アンテナの高さ

- 【起こりうるリスクを想定し、自分たちで気付き未然防止】
- <職務上>・機密漏洩(個人情報漏洩)・事故・体罰・公金横領
・不適切な行為(ハラスメント)
- <身分上>・淫行・飲酒 など

私の取組

- ①各教室・授業探訪
→自分の目で事実をつかむ
- ②「ちょっと●●先生」
→積極的な二者懇談
→子供や先生の願い・成長を語り合う
- ③使えるものは何でも使う
→先輩、地域や専門家など学校外の力を積極的に取り入れる

何ができるようになるか

何を学ぶか・どのように学ぶか・子供一人一人の発達をどのように支援するか

実施するために何が必要か

何が身に付いたか